

A.W.E.: MB&F と Laikingland のコラボレーション

創造的パートナーシップを結ぶ英国の Laikingland が作り出すキネティック・アートには思わず微笑みを誘われる。そうしたキネティック・アートの展示は、MB&F M.A.D. Gallery にとってこの上なく楽しいことだ。

Laikingland は、英国北部出身の生涯の友人同士であるアーティストのマーチン・スミス (Martin Smith) とエンジニアのニック・リーガン (Nick Regan) の二人により 2008 年に共同設立された。スミスとリーガンは一緒に、招かれた国際的アーティストやデザイナーたちとの密接な協力のもとに、自分たちのアイデアを美しく作り上げられた限定版のキネティック・アートの作品へと生まれ変わらせている。

英語の古語「lác」に由来する「Laik」は、英国北部の一部では「遊び (play)」を意味しており、また Laikingland の哲学の一端は、Laikingland の創作に触れる人々の人生にちょっとした遊び心を吹き込むことである。

スミスは次のように語る: 「私たちは美しいキネティック・アートを作ることを目指していたが、その目的が何だったかと言えば、人々を笑顔にすることだった。私たちの創作活動の関心事は、ユーモア、ナンセンスそして無駄というテーマを追求したキネティック・デバイスを作ること。」

そうしたテーマは、ジュネーブの MB&F M.A.D. Gallery で 2014 年前半まで展示されている一連の Laikingland の名作の数々に顕著に表れている。特注の A.W.E. (自動巻きエンジン)、Applause Machine そして Fingers Mk III などを含め、Just About Now、Light A Moment、The Party Popper Machine および Story Time といった選りすぐりのユニークな作品を見ることができる。

A.W.E. – 自動巻きエンジン – は、M.A.D. Gallery 向けに特別に制作されたユニークな作品である。キネティック・ロボットは、その制御機能および動きにおいて正しくアナログだ。なぜなら、A.W.E. が新旧の技術、職人芸と思考の融合から生まれたものだからである。

運動センサーがロボットの腕に命を吹き込む。ゆっくり上昇しながら前腕が伸び、見学者に向かって回転する。それによって、その「手首」にある時計が次第に至近距離に近づいてくる。その後、異なる平面を通して時計を動かし、自動巻き型ロータを回転させる。ロボットの腕はその後ゆっくりと後退し、最初の位置に巧妙に折り畳まれる。AWE 的発想を刺激する時計のネジの巻き方だ!

「A.W.E. は、私たちが Laikingland の作品に形作ることができる多くの技能を紹介している。」と、リーガンは語る。「それらはマーチン・スミスによる揺るぎないコンセプトとデザインの方角性、工業用ロボット本体の工学技術、カム駆動モーターの技術ソリューション、ギアボックスと安全センサー、ひじ関節の 3D 印刷、および見事に彫刻された前腕である。」

「我々自身の作品の 1 つとしてではなく、この作品を、顧客である MB&F 始動の最初の Laikingland プロジェクトとして提示できることは、本当に胸躍る出来事だ。」

100% 英国風の数々のキネティックオブジェで楽しむ M.A.D. Gallery でのプレイタイム

再びマーチン・スミスの手による Applause Machine は、ボタンを押すと 2 つの手がリズムカルに手をたたき、一風変わったイノベーションだ。「素晴らしい！」と言う場合の、独創的で遊び心を取り入れた表現である。

「最初は、ちょっと自嘲するつもりで Applause Machine をデザインし作ったんだ。『アーティストが自画自賛マシンをつくった』ってね。」とスミスは語る。「それからニックと彼の奥さんの結婚式の日に、『おめでとう』の美しい表現方法として彼らに見せたんだ。この贈り物によってニックの頭には、僕と協力して、その作品を生産用に再設計できる、とアイデアがひらめいたんだ！」

ニック・ラマージュ (Nik Ramage) 作の Fingers Mk III は空想的な、苛立たしげにコツコツと音を立てる、機械仕掛けのラマージュ自身の手のレプリカだ。スイッチをカチッと入れると、独特な漆黒の鉄でできた本物そっくりの指が、モーターのスイッチが再度止められるまで、リズムカルに音を立てる。ラマージュは長年にわたってスミスの良き友

人であり、自分自身について「役に立たない機械を作り、世間がそれが必要だったことに気付かなかったような機械的工夫を考案する、機械彫刻家」と表現している。

マーティン・バース (Maarten Baas) 作の **Just About Now** は、ゴングの音で時の経過を示す砂時計だ。この装置は、ボールから砂をすくってガラス製のじょうごに入れることで動き出す。その後、砂は、ボールの中に再び溜まるまで、叩き棒につながる真鍮のカップの中に少しずつ落ち、カップが空になった時点で、それによって叩き棒がゴングを鳴らす。

「希望する時間が大体過ぎた後でゴングを鳴らす時計を作りたかったんだ。」と、バースは語る。「正確な時間を知っていることなんて、意味がないことが多いのさ。休憩、瞑想、昼寝、商談など、それらはすべて正確な時間よりも数分長かったり短かったりすることもあり得るんだ。」

Light a Moment は、ヨースト・ファン・ブレイスウエイク (Joost van Bleiswijk) とキキ・ファン・アイク (Kiki van Eijk) とのコラボレーションの成果である、他に類のないキャンドルランプである。落ち着いたロマンチックなセラミック製の構造が、伝統的な教会キャンドルを保持し、構成主義的な外形の中に作られた断片化された鏡を通して、キャンドルが何千倍にも反射している。鏡でできた外部構造はゆっくりした動きで開くため、見学者には、キャンドルに点火するという行為、そして今という時に生きる行為を、真剣に考え感謝する一瞬が与えられる。

マーチン・スミス作の **The Party Popper Machine** は、Laikingland のお祝い装置という彼のテーマを継続して備えている。粗末なプラスチック製のパーティ用玩具に敬意を払い、そして「大きなバンという音」への彼の渴望を満たすために、スミスは、クラッカーの発射を精巧に支援する馬鹿馬鹿しい機械を開発した。

Atelier NL (アトリエ NL) 作の **Story Time** は時計ではあるが、決して通常の時計ではない。一連の 24 時間としては時間を伝えないのだ。どちらかと言えば、一連の出来事、つまり物語として時間を伝える。それぞれの Story Time が独自の作品で、持ち主は、モーターと特注の電気で作動するギアの周りをジグザクに動くリボンに書かれた文章をカスタマイズすることができる。作家には、それは自分の完璧な一日の物語であり得るし、詩人には、選りすぐりのお気に入りのソネットであり得、また歴史家には、時代の年代史かもしれない。

Laikingland の哲学を要約して、スミスは以下のように語る：「私たちの創作物の目的は、本質的にいたずらである。何か雰囲気明るくするものである。それが私たちにとって絶対に重要なのだ。」

2014 年前半まで MB&F M.A.D. Gallery で展示される、遊び心満載の Laikingland の作品を楽しむことで、是非、気分を明るくし、豊かな精神を育んでもらいたい。

Laikingland の共同設立者、マーチン・スミスとニック・リーガンについて

Laikingland は、招待アーティストやデザイナーと協力して作業する、マーチン・スミスとニック・リーガンのそれぞれの才能が融合したものである。二人は 30 年近く友人同士であり、彼らが育った英国の東部にある西ヨークシャーの中学校で初めて出会った。スミスは後に芸術大学に進み、一方リーガンは機械工学を学んだ。

スミスはいまだにヨークシャーに住み、仕事をしており、現役アーティストとして 18 年の経験を積んでいる。その作品は小さなキネティック・デバイスから大型の画廊の仕事や建築的介入作品まで多岐にわたる。Laikingland のアート・ディレクターとしての役割において、スミスはデザイン選択プロセスに包括的な責任を負い、製品構成を監督し、コンセプトの段階で各アーティストやデザイナーと協働する。

現在はオランダのユトレヒトに住み、仕事をしているリーガンは、Laikingland のエンジニアリング・ディレクターである。世界的な自動車業界で 17 年にわたる製品開発および技術経営の経験を持ち、ヨーロッパ、米国およびアジアの多くの世界的な一流自動車企業と仕事をしている。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください：

Juliette Duru (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

E メール：jd@mbandf.com 電話：+41 22 508 10 36